

ユニロン取替丸シート・成分表、安全シート



柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

TEL: 0795-77-2151

作成日: 2003年9月19日

変更日: 2023年9月22日

整理番号: MSDS-N017

	成 分		CAS No.	含有量 (%)
ナイロン不織布 物質の特定	炭化ケイ素		409-21-2	10~75%
	酸化アルミニウム		1344-28-1	10~75%
	硬化済み接着剤		なし	5~45%
	ナイロン繊維または織物		なし	5~40%
	炭酸カルシウム		1317-65-3	0~30%
組成説明	合成繊維不織布に均一にコーティングした酸化アルミニウム系砥粒又は、炭化ケイ素系砥粒並びにそれら砥粒を保持するための熱硬化系接着剤より構成されています。			
分析結果	臭素	塩素	フッ素	硫黄
	20ppm以下	50ppm	23ppm	140ppm
	原料としてハロゲン及びその化合物は一切使用していません。 これらの物質が不純物としてppm単位で検出される場合でもイオンの形で含有されず不純物として強固な結合状態で存在しているものと考えられます。 よって、被研磨物へ移行する量は無視できると考えられます。			
危険性情報	発火点	400℃以上		
	加熱性	あり。 但し酸素指数26以上、霧燃性である。		
	発火性	自然発火性: なし。 水との反応性: なし。		
	酸化性	なし。		
	自己反応性・爆発性	なし。		
	粉塵爆発性	なし。		
	安定性・反応性	常温・常圧で安定。		

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : なし 有害性 : 研磨作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 皮膚を刺激することがある。
応急処置	眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。 皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹼と水で洗う。 吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合 適用しない。 応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。
火災時の処置	消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。 消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤 火災時の処置に関する特記事項 適用しない。
暴露防止措置	許容濃度 炭化ケイ素 (409-21-2) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2 mg/m ³ 総粉塵 8 mg/m ³ ACGIH TLV : 10 mg/m ³ TWA 1986 酸化アルミニウム (1344-28-1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 0.5 mg/m ³ 総粉塵 2 mg/m ³ ACGIH TLV : 10 mg/m ³ TWA AIとして 1986 硬化済み接着剤 (CURED AD1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない ナイロン繊維又は織物 (NYLON F02) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない 炭酸カルシウム (1317-65-3) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2 mg/m ³ 総粉塵 8 mg/m ³ ACGIH TLV : 10 mg/m ³ TWA 1986 設備対策 硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。集塵装置を使用する。 呼吸保護具 切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。半面防塵マスク、全面防塵マスク 保護眼鏡 サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。

<p>物理／化学的性質</p>	<p>外観等 : 砥粒と樹脂バインダーを不織布に含浸し、硬化して接着された不織布</p> <p>沸点／範囲 : 適用しない</p> <p>融点／範囲 : 適用しない</p> <p>蒸気圧 : 適用しない</p> <p>水溶性 : 適用しない</p> <p>比重 : 適用しない</p> <p>蒸気密度 : 適用しない</p> <p>蒸気濃度 : 適用しない</p> <p>pH : 適用しない</p> <p>粘度 : 適用しない</p>
<p>危険性情報</p>	<p>引火点 : 適用しない</p> <p>燃焼範囲－下限 (%) : 適用しない</p> <p>燃焼範囲－上限 (%) : 適用しない</p> <p>発火点 : 適用しない</p> <p>避けるべき物質 : 適用しない</p> <p>有害な分解物 : 通常の使用条件においては、有害な分解物の発生は予想されない。しかしながら、火焰または極端な過熱により次の分解物を放出することがある。 一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・シアン化物・ホルムアルデヒド</p> <p>安定性・反応性 : 安定。危険な重合は起こらない。</p>
<p>有害性情報</p>	<p>眼に入った場合 本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。</p> <p>眼の機械的刺激 : 症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合 皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。</p> <p>機械的な皮膚刺激 : 症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合 吸入した場合の健康障害は予想されない。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合 本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報 本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>
<p>その他</p>	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。</p> <p>また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>